



地域の力で守られる 「虫送り」 多羅尾地域市民センター

6月28日、「虫送り」が催されました。虫送りは、昔から農家の人がその年の豊作を願う農作物、特に「田んぼの稲に害虫がつかないよう」と松明を焚き田んぼのあぜ道に火を灯し、虫を追い払うことです。里宮神社出発で約2キロの道のりを太鼓と鐘の鳴り響く中、小学生から区民の皆さんが、それぞれ手作りの松明を手に区内の川沿いや田んぼのあぜ道を練り歩きました。



蛍とモリアオガエル 雲井地域市民センター



雲井地域市民センターのご近所の方から、畑の小川で育てている蛍が飛び交うようになったと誘っていただきました。暗闇に浮かぶ幻想的な光の舞に見とれていると、蛍の飛び頃はモリアオガエルの卵も見られると教えていただきました。翌日、早速案内された池に行くと、木の葉っぱにうすクリーム色の泡の塊が無数にぶら下がっていました。このモリアオガエルの卵は、泡の中でお玉じやくしになり、雨とともに池に戻ります。市内でも珍しくなった豊かな自然の風景の大切さを小さな命が教えているようでした。



寒い時に使うものですが、 こんな利用法も・・・ 油日地域市民センター

甲賀町和田区女性12名の自主活動グループ「コスモス」は、10年ほど前から地域づくりに取り組んでいます。そのひとつに使わなくなった火鉢をプランターに再利用

し、区内を花で飾る活動があります。5年ほど前、和田公民館の押入れを整理したところ、小ぶりの火鉢がたくさん見つかりました。今はもうほとんど使われない火鉢ですが、捨てるのももったいないと思いついたのが、底に穴をあけて花を育てることでした。今年で5年目に入り、今では会員全員で様々な花を植え、和田いこいの家の入り口に10鉢、残りを花壇脇に置き、交代で手入れをされています。「コスモス」の皆さんは、これからも親睦を深めながら元気な地域に一役買いたいと話しています。



梅の収穫始まる （愛柑クラブ（柑子）） 甲南第三地域市民センター

6月23日、愛柑梅推進事業部の皆さんによる「梅もぎ」作業が行われました。この日収穫したのは南高梅という品種で、植林してから初めての収穫を迎えたとのことでした。今年には豊作ということで、部員の皆さんは40本の梅の木の中に鈴なりに実った梅およそ330kgを、慣れた手つきで手際よくかごに入れておられました。今後、選別、へた取り、洗浄、アフ抜き、せいろ干し、塩漬けなどの作業工程を経て梅干しに加工され、10月以降には甲賀市の学校給食に提供されます。

新コミュニティへの挑戦

NO.29

自治振興会、7月1日現在18の地区で設立進む

市内各地区で自治振興会の設立が進んでいます。昨年度までに準備委員会を発足いただいた19の地区のうち、7月1日現在、18の自治振興会が設立されました。

7月中には、残り1地区も設立予定であるほか、市が提案をさせていただいた23地区での自治振興会設立までには、残り4地区となっていますが、うち2地区では、今年度に入り、準備委員会が発足されるなど、市内全域での理解がさらに深まっています。

今月号では、4月24日に設立された小原自治振興会をご紹介します。

小原自治振興会

無理をせず、出来るところからスタート

小原地区は、地区内の中央に山が連なるという地理的な特性があるまちです。

設立までには、地理的な事情からも学区活動に制限が加わるなど様々なご意見がありました。

そうした中、小原自治振興会では、これまで開催されてきた学区体育大会や青少年育成活動、ワクワク農園活動などを中心に展開しながら、一部では、学区内で分散型の事業展開も実施しながら、充実・発展される予定です。



小原自治振興会 上田康之会長に聞きました

——自治振興会設立に至った経過をお聞かせください

平成21年度途中で自治振興会と地域コミュニティセンター設立の話が信楽地域区長会で出され、平成22年に小原学区自治会で議論することになりました。

当初の考えでは「平成23年4月以降も継続審議する。」としていましたが、時間の経過とともに、自治振興会設立に向けた取り組みが市内全域で広がっているという市の説明を受け、12月初旬から毎月小原自治振興会設立準備会として3回に亘る協議を重ねました。その結果、「歩きながら考える」ということで、当面は従来からの学区自治会組織とその事業が中心となり、新しい組織、事業については随時検討していくことで、設立に至

りました。

——自治振興会設立までにご苦労されたところは

各区ともに、現在活動はしっかり出来ており、困っていることはない」「新しい組織を作っても役員のなり手がいないのではないか」「小原学区は山で北部と南部に分断されており、全



体で何かをするとしても人が集まりにくいのではないかと「交通の手段がないと一つの会場での実施は難しいのでは」等々の反対意見も多く出され、平成23年度での実施は難しい状況でしたが、その後、現在取り組んでいることから、とりあえずスタートし、無理をせず、出来ることから取り組んでみようとなり、不安を抱えてのスタートとなりました。

——自治振興会の取り組みでこれは、と思う取り組みは何ですか

従来から小原小学校を中心に据えた取り組みを進めてきていますので、さらにそれらを発展させる取り組みをしたいと考えています。「学区の体育大会」「公民館活動」「小学校ワクワク農園活動のサポートをする活動」「青少年育成学区民会議活動」「人権を大切に活動」等々の組織（部会）を自治振興会に設置し、随時会議を開き、それぞれの部会で積極的に活動を展開することです。

——小原自治振興会のPRをどうぞ

「小原の子どもは小原の地域で見守り育てる」をスローガンに、いのち輝かせる子どもの育成と各区のいっそうの連携を中心課題として取り組んでいきたいと考えています。

問い合わせ 地域コミュニティ推進室
☎65-0687 ☎63-4554

甲賀市環境審議会委員を公募します

環境審議会…市長の諮問機関として環境保全等に関する重要事項の審議を行います。

組 織…10名以内の委員で構成

募 集 人 数…2名

任 期…2年

報 酬…規定あり

審議会開催…年2回程度

応募方法

応募資格：市内に1年以上継続して居住する20歳以上の方で、環境問題に深い関心のある方
※国・地方公共団体の議員や公務員、および甲賀市の他の機関等の委員の方は応募できません。

応募方法：生活環境課に備え置き、又は甲賀市ホームページに掲載の募集要項を確認のうえ、応募用紙と小論文（様式任意。甲賀市の環境に関する考え方や応募動機を800字程度にまとめたもの）を提出してください。

提出先：生活環境課
（〒528-8502 水口町水口6053 甲賀市役所水口庁舎）

募集期間：7月28日（木）迄（郵送の場合、当日消印有効）

問い合わせ 生活環境課 環境政策係
☎65-0692 ☎63-4582